

脳神経外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	神経膠芽腫（IDH 野生型）における腫瘍免疫微小環境の空間的解析
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）頭蓋底外科センター （職名）准教授 （氏名）伊藤英治
研究の対象となる方	2014年1月から2024年12月までに神経膠芽腫と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>この研究の目的は、IDH 野生型神経膠芽腫（GBM）の腫瘍内に存在する免疫細胞の種類・量・位置を詳細に解析し、腫瘍の免疫環境を明らかにすることです。特に、B7-H3 という免疫チェックポイント分子、Iba1 陽性の腫瘍関連マクロファージ、CD20 陽性 B 細胞が腫瘍組織内のどこに存在し、互いにどのような関係にあるかを調べます。この知見は、GBM に対する免疫療法の開発に役立てることが期待されます。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>手術で摘出された腫瘍組織のパラフィン包埋標本（通常の病理診断後に保管されているもの）から薄切標本を作製し、免疫染色を行います。患者さんのプライバシーを守るため、個人を特定できる情報は切り離して管理します。研究結果は個人が特定されない形で学会・論文にて公表します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：手術で摘出した腫瘍組織を使用</p> <p>情報：診療録（カルテ）から、年齢、性別、手術所見、病理診断結果、画像検査結果（MRI 等）、治療経過（テモゾロミド・放射線療法）、予後等を収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年2月28

は提供を希望しない 場合	日までに郵送、窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出て ください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 頭蓋底外科センター 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 伊藤英治 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22138)